



TOPIC

みんな一緒に支え、支えられ

＜左から＞長期ボランティアのジャック、職員のリョウ、2021年度卒業生のケイスケ（昨年10月の稲刈りにて）

支え、支えられながら

共に生きる社会を作り上げる

佐久間郁（事務局長）

1 年後に50周年を控え、これまでアジア学院がどれだけ多くの人に支えられてきたのかを考えると胸が熱くなる。高見敏弘氏がアジア学院創立のビジョンを抱き、この地に導かれる過程に始まり、今まで様々な危機的な場面をも乗り越えることができたのは、きっと星の数ほどの目に見えない支えがあったからに違いない。

2011年の東日本大震災の時、これからどうしたら良いのかと絶望的な瞬間があった。また、コロナ下で海外学生の来日が皆無となっても、尚、私たちが希望を持って前進できるのは、この星の数ほどの支えがあるからだ実感している。

私がこれまでアジア学院で過ごした年月は、日本人学生としての1年を含め18年になる。2009年からはアジア学院後援会（ARISA）や支援者サポート担当、事務局長となり、支援者の皆さまに直接お会いする機会が多かった。様々な企画をし、アジア学院に来て頂く機会を作り、また出かけて行った。アジア学院や卒業生について話し、交流し、食事を共にし、宿泊させて頂く。その中で新たなつながりが生まれ、刺激を受け、それがまたエネルギーとなり循環する。土の中には様々な微生物がいて、昆虫がいて、動物がいる。それらの生き物

が呼吸し排せつし、住処を作る。そんな当たり前の行為が栄養分となり、発酵を促し、通気性や排水性をよくしたりする。私たちの支援の在り方もそうありたいと思う。支援というのは一方的なものではなく、「支え、支えられる」関係なのだ。

アジア・アフリカの農村指導者を育ててやっているのでない。彼らが何か足りないから支援しているのではない。世界が直面している様々な課題は、私たち先進国や私たちの生活のあり方に起因し、変わるべきは私たちであることが多い。

私たちは共に生きる社会を一緒に作り上げる途上にある。不完全で、脆く、強さも弱さもある私たちが、くしゃくしゃになりながら、支え、支えられながら、作りあげていく。それは、きれい事ではなく、泥くさく人間くさい。支援者の皆さま、地域の皆さまの協力なしにはできない。神さまはそれぞれをあってユニークな存在として、お互いを必要とするように創られたのだと思う。

密を避け、人とのつながりが希薄になりそうな今だからこそ、アジア学院らしい支援の在り方、共に生きる社会のあり方をこれからも模索し、発信し、実践していきたい。

アジア学院の農村指導者研修は、地域、そして世界中の方々のかかわりがあってはじめて完成します。その協働作業の一部をご紹介します。



書き損じはがき

いつも皆様からお送りいただく書き損じはがきや切手等。その活用方法は意外と知られていないのではないのでしょうか。書き損じはがきは郵便局に持参し、1枚5円の手数料で新しいはがきや切手に交換しています。これらの新しいはがきや切手は、皆様からお送りいただく未使用切手と併せて、皆様へのお礼状や案内の発送、商品送料の補てんに用いています。また、公認の郵便切手類販売所として新しいはがきや切手を外部団体へ販売したり、使用済み切手を切手収集家との仲買業者に買い取っていただいたり、金券や外国硬貨を換金し、学院の運営費の一助としています。

1枚のはがきや切手は小さなものですが、日本中の皆様の思いが集まって、アジア学院の運営、ひいてはアジア・アフリカの農村の未来のために大きな役割を果たしてくれているのです。



文 江村 悠子 募金

アジア学院を共につくる「支え、支えられ」の誓い



ホエイに大興奮する豚たち



文 大谷 崇 畜産



地域資源

アジア学院の持続可能な農業を支えているのは家畜の糞でつくったぼかし肥料やコンポストです。その大元になっているのは地域から頂くオカラなど、飼料の原料になる地域資源。まさにアジア学院のフードライフの玄関口、一丁目一番地といえます。これがなければ発酵飼料も出来ずに家畜も飼えません。糞がなければ有機農業も満足にはできません。それだけでなく、毎回頂く鶏のヒナやおがくずなども畜産を支える強力な地域資源です。



アジア学院さんにはチーズを作る過程で大量に出るホエイ（乳清）をご利用いただいています。ホエイは低脂肪・高タンパクで栄養豊富な資源なのですが、うまく活用できず、そのほとんどが多くのチーズ工場で廃棄されています。廃棄されてしまうホエイが豚さんの栄養となり、おいしく活用されておりとても助かっています。



宇田 翔吾（チーズ工房那須の森工務長）



通いボランティアさん

「自分の時間を誰かのために、有意義に使いたい。」アジア学院の理念にご賛同くださり、また貢献したいというお気持ちから、日々の活動をお手伝いくださる通いボランティアさんたち。学生や長期ボランティア、職員とは異なる立場ですが、理念に対する思いをひとつにして、また学院での交流やお食事などを楽しみながら、私たちの活動を支えてくださっています。退職された方、主婦の方、転職活動中の方など背景は様々ですが、ほとんどの方が5、10年以上継続され、また決まった曜日に来てくださり、実務においてもとても頼もしい存在です。

特に2012年1月以来、放射能測定にご尽力くださった通いボランティアさんたちは、震災直後から、アジア学院のみならず、食品や環境の安全を求める方々に正確な情報を提供するという大役を担ってくださいました。

ご自身のキャリアを活かし、学院で学ぶ学生たちが世界中で活躍できるよう日々お手伝いくださる地元の方々は、まさに縁の下の力持ちです。



文 佐藤 裕美 販売

10年以上働いてくださった通いボランティアさんに感謝状を贈呈（2021年12月の卒業式にて）

収穫の分かち合い

「共に生きるために」をモットーに活動するアジア学院では、学生たちやボランティアの皆さんと協力し、共に栽培・収穫した有機米や有機野菜を、地域で活動する団体を通じて、生活支援が必要な方々まで送り届けています。私たちは、アジア学院に集う仲間のみならず、現代社会において、様々な立場にある人々とも手を取り合いながら、共存共栄の道を探り求めていきたいと考えています。

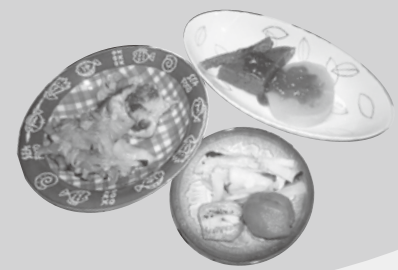


文 櫻井 将伸 野菜作物



NPO法人キッズシェルターでは、アジア学院の野菜を毎週いただいています。貴重な有機栽培の野菜たちを、フードバンクで何軒かの家庭に届け、専支援児童放課後支援事業にじのいえでは夕食の材料に活躍。今夜は、味噌おでんの大根、マスのちゃんちゃん焼きのキャベツ玉ねぎ白菜、浅漬けに登場しました。

古川 肇子（にじのいえ調理担当）





(1) コミュニティーワークとして行われた芋掘り (2-5) 学生のプレゼンテーション (6) 有機農業の授業



2021年12月11日に行われた卒業式

それでも最高の研修を

大柳由紀子（副校長・教務主任）

2021年度の研修を始めるにあたり、目標としたのは「それでも最高の研修を」でした。昨年から続く新型コロナウイルスの世界的流行が、研修に多くの困難をもたらしたの事実です。最も大きな影響を与えたのは、海外からの学生が一人も来日することができなかったことでした。これはアジア学院のみならず、日本全国の学校も同様です。しかしそのような状況にあっても、神様の豊かな恵みとご導きのうちに、多くの人々に支えられながら、3名の日本人学生と1名の日本在住のギニア人学生が無事に研修を完了することができました。

コロナの影響は、他の多くの場面でも起こりました。県外での研修は中止や縮小も多く、また少人数での農場管理は困難を極めました。通常ならば25名ほどの学生が4つのグループに分かれますが、今年はグループは1つしかありません。しか

機会ととらえること」「いつも前向きに取り組むこと」、これらはいつも研修上心掛けておくことでもあり、学生たちにも伝えておくことですが、それが明確に表面に出てきたのが今年の研修であったともいえます。

いくつかの「初めて」がありました。「収穫感謝の日」は初のオンライン開催、海外の来日できなかった学生とオンラインで繋いでディスカッションをし、インドネシアやケニアの卒業生にはオンライン授業をやらせてもらいました。月に一度、卒業生に朝の集会で話してもらいました。食と消費行動を考える新しい授業も行いました。卒業生たちの活動から「農村指導者とは何か」を学ぶ授業も実施しました。難民申請者であるファティマを学生として迎えたことから、難民問題について考えるワークショップも実施しました。これら全てが「いつもの」アジア学院の研修に加わったことで、学生たちは新たな学びを得ることができたのです。

学生の一人は、研修の最後にこう述べています。
「学生生活は終わりつつありますが、同時に新しい人生の始まりでもあると感じています。アジア学院では多くの貴重なことを学びました。それは、常に命や世界と共にあるアジア学院の生活でしか得られないと思います。これからも問いを持ち続

しながらこの少なきこそが、今年の学生たちにとっての利点ともなったのです。

アジア学院は1学年の人数に上限を設けた少人数教育ではありませんが、それでも一人一人の学生の理解度をすべて把握することは困難です。でも4名であれば、それは可能となります。じっくりみればとても贅沢な研修だったと思います。またいつもの人数の6分の1以下ということとは、プレゼンテーションやリーダーシップの機会が頻りに回ってくるということでもあります。ある職員が学生の一人に「今年は人数が少ないから、朝の集会で話をする当番もたくさんあるね」と同情しながら言ったところ、その学生は嬉しそうに「そうなんです。いつもだったらここまでの回数をやらせてもらえることはないでしょう。僕たちはラッキーですね」と答えていました。「柔軟であること」「全てを学びの

け、人生の背骨となるような学びを宝としながら、自分らしく生きていきたいと思っています。そして、たとえ困難に直面しても、今を生き、自分を見つめ、この一年を過ごしたように、人生を豊かにしていきたいと思っています。」

今年の研修が、学生たち一人一人にとって「それでも最高の研修だった」と思えることを信じ願っています。

入学式、来年度の学生の受け入れについて

昨年に引き続き、新型コロナウイルスの影響で海外からの学生がいつ入国できるかは未定です。また、入学式をどのような形で行うかも検討中です。入学式につきましては、決定次第ホームページやSNSでお知らせいたしますので、随時ご確認ください。



北米から届く

支援のまなこ

長年、アジア学院を力強く支えてくださっているアジア学院北米後援会（AFARI）。

2021年6月に代表理事に就任したポール・ヘイスティングス氏からメッセージが届きました。



コロナ禍で開催されたAFARI オンラインイベントの様子。左上がヘイスティングス氏。

私は日本で育ち、子供の頃に何度かアジア学院を訪れたことがあるので、アジア学院と一緒に働き、サポートするこの機会に感激しています。AFARIから3つの最新情報をお伝えします。まず、アジア学院の卒業生に専門的な能力開発の機会を提供することを目的としたフェローシップ・プログラムを近々開始する予定です。このフェローシップに関する情報は、AFARIのウェブサイトで入手することができます。2つ目は、2022年にアジア学院への年間支援額を増額する予定であることです。これは、寄付者の皆様からの惜しみないご寄付によって可能となりました。3つ目は、コロナ禍でメンバーとつながるためのオンラインイベントを定期的開催することです。これからもアジア学院ファミリーとの関係を大切にしていきたいと思います。

アジア学院北米後援会（AFARI）1982年設立。主に北米における募金活動支援者拡大活動を展開。現在数百名の方々が定期的に支援をしてくださっている。

ご支援に感謝いたします

2021年10月1日～12月31日（敬称略・順不同）

寄付金がアジア学院に入金された日に基づき掲載しております。入金日は、口座振替の場合はご決済の1ヶ月後、クレジットカードの場合は2ヶ月後です。

<p>サポーター寄付</p> <p>一般寄付</p> <p>寄付者御芳名</p>	<p>【北海道】井澤敏郎 植松誠 後藤正敏・すぎん 高橋浩二 丹野千枝美 浜島和子 宮崎善昭 村本憲子 遺愛女子中学高等学校 (キ)札幌北一条教会 (キ)札幌桑園教会</p> <p>【青森県】木村幸子 (学)弘前学院聖愛中学高等学校 宗教部</p> <p>【岩手県】浅利皮重・志津子岡田幸助酒匂敬遊辺野彦・君子 (教)内丸教会ぶどうの会【宮城県】小林孝男 Schmidt Kenneth 庄子泰子 西村勉 (学)宮城学院女子大学宗教センター (学)宮城学院中学校高等学校宗教部 (教)宮城中地区教会婦人会</p>
---	--

【秋田県】丹波望【山形県】志藤正一 須藤フミ【福島県】斎藤仁一 長峯久夫・蔵中村基行松谷健司 (教)川谷教会【茨城県】金子喜一郎 木本さゆり 近藤由巳 島崎小乙里 塚田洋子 伏木正進 谷田部裕子 IKE 設計開発事務所 池添善幸 (キ)古河伝道所 土浦友の会 (教)日立教会 (公)水戸聖ステパノ教会 聖マリア婦人会

【栃木県】木曾康子 赤澤美恵子 赤羽正美 阿久津啓司 阿久津節子 Appau Bernard Timothy 阿部真希子 荒川治 荒川朋子 有馬和子 飯島恵子 飯塚仁美 池田桂子 石川菜良 伊藤正印 南敏夫 内田尚久 江連勝明 榎本将江 大下正人・陽子 大谷雅代 大塚啓子 大塚順子 大柳由紀子 小倉一郎・恭子 柏谷重明 片桐洋史 金子光雄・栄子 川上聖子 川里宏川 添信 義吉 川宗芳 木村裕子 黒崎彰子 黒田泰弘 都司いく子 後藤正昭 小中一成 駒庭千秋 五味潤明美 近藤由美 坂入貴子 佐藤範明 塩野玄機 杉田恭一・文子 高嶋幸雄・ヒサ子 高見信子 高山浩子 瀧澤昌弘 立野匠 館野廣幸 館脇義人 田中淳子 谷口敬介 土屋節子 中澤堅次 長嶋清 長瀬美香 長山くるみ 並木レベッカ 西岡隆 丹羽芳雄 橋本穂子 花塚洋史 林真智子 原田三恵子 福島永 福本知恵子 藤田カツノ 舟越早苗 マクニール恵子 増田守 増山律子 McCurley 里美 三澤京子 皆川幸恵 三橋恵子 村田紀美子 室井正子 森川有理 八木沢淳 安井武雄 八巻正治 山田公平 (公財)あしぎん国際交流財団 西那須野幼稚園 家の教会しおん (学)宇都宮海星女子学院中学校高等学校 宇都宮友の会 (キ)宇都宮松原教会教会学校 (宗)雲照寺 大森電気管理事務所 大森正男 (キ)小山教会 小山友の会 河内キリスト集会 (公)北関東東区婦人会 (学)さつき幼稚園 (カ)厳律シトー会 那須の聖母修道院 (カ)聖心礼拝修道会那須修道院 (キ)栃木教会 宇都宮北高等学校 PTA (教)栃木地区婦人会 (教)那須塩原教会 那須友の会 那須フェイスメンズクラブ (教)西那須野教会 鹿沼キリスト教会 藤沼会計事務所 藤沼哲夫 (教)益子教会 Minggos (学)矢板学園 やいたこども園 (教)矢板教会 (教)四條町教会 立正佼成会那須教会

【群馬県】江村陽 大嶋果織 金子勝子 佐藤たへ子 須藤まさ子 奈賀悟 永井順子 Lacar Aaron Kawailani Okeola (教)群馬地区婦人会 前橋友の会

【埼玉県】東治子 池内きよ子 井出誠嗣 茨木公子 金刺裕美・泰雄 樺澤幸雄 河島清菊 池千代子 北野啓子 武真人 千村雅信 戸井田紗耶香 西村松田・節子 福島道子 細川武 眞壁日史郎 三浦幸雄 柳澤芳信 柳原さつき 吉崎玲子 渡辺栄一 (教)安行教会 (公)浦和聖徒教会 浦和友の会 (教)川越教会 (公)川越基督教会 川越友の会 国立聖書研究会 (教)埼玉地区婦人会 草加友の会 東京聖書集会「なぐさめの箱」日本バプテスト女性連合 (キ)南浦和教会【千葉県】安東優 猪狩友子・多佳子 石崎利夫 金森はるみ 金子聡子 北尾隆昭 小峯彩子 佐久間健 佐藤朝子 佐藤伊一郎 佐藤千支子 関祐造・美枝子 関偉子 野田節子 箱崎洋子 廣田曉信 藤原敬治 古屋朝則 矢口敏和 安みぎわ 山崎尚子 山本栄子 市川友の会公共係 (バ同)蓮河キリスト教会 (教)柏教会 千葉友の会 松戸友の会【東京都】Arthurson Devon 会津麻美子 浅尾治子 阿部明子 阿部哲夫 新井美華 新井伶子 石田満 石原晶世 伊藤博子 犬塚豪 犬丸敬子 井ノ口眞梨子 岩切勉 岩津英資 ウィットマール・圭子 植田栄基 上田眞理 梅澤やよひ 大塚綾 岡本和子 尾澤うめ子 小見 寿 鹿島照代 片岡大造・仁枝 加藤美玲 加納貞彦 神谷幸男 柄澤真理子 川口雄二 川原正言 河本壽恵乃 木全万千子 木村嗣子 草野宣子 楠田史子 久世陽子 倉敷英子 栗山昌子 黒田俊介 小杉直美 小西孝蔵 小林元子 近藤眞子 斎藤雅 佐藤弘徳・百合子 佐藤雅子 佐波吉男 小豆真人 鈴木元子 鈴木隆・美智子 鈴木由美 高田幸一 高野美恵子 高橋馨 高山アキ子 竹内豪 武田正一 田代洋子 田中維武 田中淑子 棚瑞希子 玉木光一 円谷恵 出口禎子 寺嶋公子 中富額隆 中野昭子 並木浩一 鷺川治樹 能登尚子 野村紘子 野村正宣 林千根 林崎光子 原かおり 原美左恵 東谷和代 久山道子 日高好男・啓子 平岡昭子 深谷春男 福田一成 福岡真理子 古谷馨 本田典子 本多峰子 牧甫 真下源子・弥生 増田泰子 松尾みどり 丸山正文 三井田純子 向山 功 牟田青子 村松武司 森哲也 森川恵美子 矢野正貴 矢吹正道 山岡清二 山縣史子 山崎みどり 山田貴司・美貴子 山田正 山根正彦 渡辺多恵子 渡辺真理子 (教)志村栄光教会 婦人会 (カ)お告げのフランシスコ姉妹会 恵泉女学院中学・高等学校宗教部 (教)小石川明星教会 (学)国際基督教大学高等学校 キリスト教活動委員会 (教)城西教会 (学)女子聖学院 (カ)聖心会 (あけの星修道院) (公財)全国友の会 振興財団 全国友の会中央部 全国友の会 南関東部 (教)日本基督教団洗足教会 教会学校 多摩友の会 鶴川シオン幼稚園 (教)田園調布教会 シンオン 東京聖カトリックライオンズクラブ (教)東京教区北支区婦人会 (教)東京教区西南支区婦人会 (教)東京教区南支区婦人委員会 (公)東京聖テモテ教会奉仕会 東京第一友の会 東京第二友の会 (学)東洋英和 虹の会 東洋英和女学院中 高部 母の会 (教)長原教会 (教)中目黒教会 (教)永山教会 (キ)西経堂伝道所 (一財)JELA 日本福音ルーテル社 農村伝道神学校 (教)原町田教会 (教)東久留米教会婦人会 (教)ひばりが丘教会学校 (教)碑文谷教会 (教)百人町教会 (特活)フェアトレード・ラベル・ジャパン (教)深川教会 (学)普連士学園宗教委員会 (福ル)保谷教会 (教)三崎町教会 (教)水元教会 (教)目白教会 婦人会 (教)目白町教会 (教)代々木教会付属シオン幼稚園 (教)豊南坂教会婦人会 (教)豊南坂教会附属豊南坂幼稚園 (カ)煉獄援助修道会 ワールドファミリー基金【神奈川県】清水留美子 穂田宗隆 浅野康一 安積力也 天野潤 荒井明子 稲田淳 今川信夫 岩澤裕基 岩谷幸子 牛山元美 梅澤昌子 江頭眞彦 江坂宏子 遠藤道子 大石三枝子 大社淑子 尾崎久美 尾崎正夫 加納昌子 川上豊子 川辺美弥子 河原三津子 黒澤道男・雅子 桑原安子 小暮修也 小林悦己 駒形朋子 斉藤恵子 島田勝彦 進宏一 新藤雅敏 新村道子 杉谷愛 鷺見八重子 関根ゆかり

高田英明 ティースマイヤリン 中本尚孝 鍋嶋那津子 西村由子 福井敏之 堀川浩邦・恵子 本川鏡子・南海子 本田忠行 松木強・優子 松島直子 メンセンディークジェフリー 望月義郎 山口和枝 山口淑子 山崎恵 山田早苗 山本久美子 湯本浩之 横野千晶 (教)生田教会 (学)大塚平安学園ドレーパー記念幼稚園 (バ同)霞ヶ丘教会 (教)片瀬教会 (教)鎌倉泉水教会 鎌倉友の会 公共係 (学)関東学院六浦小学校 (教)相模原教会 桜ヶ丘幼稚園 (バ同)捜真バプテスト教会 (キ)茅ヶ崎東教会 女性の会 (教)辻堂教会 (キ)鶴見教会 東京第四友の会 (学)フェリス女学院中学校・高等学校 (教)藤沢教会 聖心の布教師妹会 第二修道院 横浜友の会 横浜ユニオン教会 (カ)レデンブトリスチン修道院【新潟県】荒井眞理 大西洋司 海津武尚 川村邦彦 小池正造 萩原正次 (教)中条教会 (教)新潟地区教会婦人会連合 (教)東中通教会婦人会

【富山県】酒井信治【石川県】喜田妙子【山梨県】寺島昭二 藤井伸【長野県】青木栄作 久保マサ子 森田矩子 (キ)上田教会婦人会 聖十字幼稚園【岐阜県】谷口明 (キ)岐阜教会【静岡県】安間英行 板本直子 武井陽一 古橋克己 松村芳男 松本伸吉 丸山信子 山下清二 吉田幸子 (キ)磐田西教会 (教)遠州栄光教会 深萩教会学校

【愛知県】青木栄一 荒川勉 伊藤幸慶 鈴木麗子 塚田昇 深谷ひろみ (教)中京教会 名古屋ユニオンチャーチハイチの会【三重県】坪井涼子 中西敏行【滋賀県】岡田妙 (宗)アシュラムセンター 大津友の会【京都府】上田祐未 大谷隆彦 櫻井鋭子 中神星乃 前川裕 Morimoto Hermansen Christian (教)京都上賀茂教会 (公)聖アグネス教会 国際会衆【大阪府】相原正温 大川四郎 大本和子 金石文興 川崎道子 川俣茂 日下弘子 陳野友洋 田中義信 筒井百合子 西原浩 藤井元子 見満紀子 山下紘正 (公)石橋聖トマス教会 大阪友の会 (教)豊中教会 (教)都島教会【兵庫県】片山陽平 加輪上敏彦 黒田喜久子 島田恒 谷佐代子 筒井三喜子 山本愛子 山本俊正・Genung Claudia 李善恵 (公)芦屋聖マルコ教会 (カ)援助修道会 六甲修道院 (カ)カルメル会修道院 (教)神戸栄光教会 栄寿会 (カ)善きサマリア人修道院 (学)六甲学院中学校・高等学校

【奈良県】池淵康彦 (教)大和キリスト教会【和歌山県】田尻忠邦・須賀子【鳥取県】(学)良善幼稚園【岡山県】岡山友の会【広島県】高石孝子 野村篤子【山口県】片山由美子 (カ)キリスト・イエズスの宣教会 防府修道院【徳島県】長谷川祥子【愛媛県】入船重厚【高知県】田中茂太郎【福岡県】荒川淑 中島葉々子 西岡裕芳 福田輝美 松隈桂子 武藤謙一 北九州友の会【佐賀県】英語教室もと【長崎県】山上嘉孝 (教)長崎銀屋町教会【熊本県】宮崎房子 山根誠之 熊本友の会【大分県】大分友の会【鹿児島県】大谷ともよ 阿久根めぐみ こども園【沖縄県】小笠原春香

【海外】PATRICIA BUDIMAN カナダ合同教会 (UCCJGER) UNITED METHODIST COMMITTEE 日本国際基督教大学財団

寄付金実績状況	10月	8,650,568 円	寄付金領収書について 口座振替・クレジットカードでご寄付頂いた場合、所得税法により領収書の発行及び領収日は、アジア学院に入金された日とさせていただきます。
	11月	4,237,885 円	
	12月	10,379,883 円	
	合計	23,268,336 円	

【北海道】下田尊久【青森県】(カ)本町教会【岩手県】中原眞澄【宮城県】酒井高男【福島県】斎藤仁一 佐川真理子【茨城県】飯田卓也 篠崎栄子 谷田部裕子【栃木県】阿久津節子 阿久津マキ子 有馬和子 飯塚隆 飯沼淳子 大塚順子 小出英夫 後藤正昭 近藤由美 高山由貴 武田誠 谷口洋子 津久井貴之 中澤堅次 中島洋子 原田時人 見恵子 日根野浩史 福本知恵子 植田栄基 上田眞理 梅澤やよひ 大塚綾 岡本和子 尾澤うめ子 小見 寿 鹿島照代 片岡大造・仁枝 加藤美玲 加納貞彦 神谷幸男 柄澤真理子 川口雄二 川原正言 河本壽恵乃 木全万千子 木村嗣子 草野宣子 楠田史子 久世陽子 倉敷英子 栗山昌子 黒田俊介 小杉直美 小西孝蔵 小林元子 近藤眞子 斎藤雅 佐藤弘徳・百合子 佐藤雅子 佐波吉男 小豆真人 鈴木元子 鈴木隆・美智子 鈴木由美 高田幸一 高野美恵子 高橋馨 高山アキ子 竹内豪 武田正一 田代洋子 田中維武 田中淑子 棚瑞希子 玉木光一 円谷恵 出口禎子 寺嶋公子 中富額隆 中野昭子 並木浩一 鷺川治樹 能登尚子 野村紘子 野村正宣 林千根 林崎光子 原かおり 原美左恵 東谷和代 久山道子 日高好男・啓子 平岡昭子 深谷春男 福田一成 福岡真理子 古谷馨 本田典子 本多峰子 牧甫 真下源子・弥生 増田泰子 松尾みどり 丸山正文 三井田純子 向山 功 牟田青子 村松武司 森哲也 森川恵美子 矢野正貴 矢吹正道 山岡清二 山縣史子 山崎みどり 山田貴司・美貴子 山田正 山根正彦 渡辺多恵子 渡辺真理子 (教)志村栄光教会 婦人会 (カ)お告げのフランシスコ姉妹会 恵泉女学院中学・高等学校宗教部 (教)小石川明星教会 (学)国際基督教大学高等学校 キリスト教活動委員会 (教)城西教会 (学)女子聖学院 (カ)聖心会 (あけの星修道院) (公財)全国友の会 振興財団 全国友の会中央部 全国友の会 南関東部 (教)日本基督教団洗足教会 教会学校 多摩友の会 鶴川シオン幼稚園 (教)田園調布教会 シンオン 東京聖カトリックライオンズクラブ (教)東京教区北支区婦人会 (教)東京教区西南支区婦人会 (教)東京教区南支区婦人委員会 (公)東京聖テモテ教会奉仕会 東京第一友の会 東京第二友の会 (学)東洋英和 虹の会 東洋英和女学院中 高部 母の会 (教)長原教会 (教)中目黒教会 (教)永山教会 (キ)西経堂伝道所 (一財)JELA 日本福音ルーテル社 農村伝道神学校 (教)原町田教会 (教)東久留米教会婦人会 (教)ひばりが丘教会学校 (教)碑文谷教会 (教)百人町教会 (特活)フェアトレード・ラベル・ジャパン (教)深川教会 (学)普連士学園宗教委員会 (福ル)保谷教会 (教)三崎町教会 (教)水元教会 (教)目白教会 婦人会 (教)目白町教会 (教)代々木教会付属シオン幼稚園 (教)豊南坂教会婦人会 (教)豊南坂教会附属豊南坂幼稚園 (カ)煉獄援助修道会 ワールドファミリー基金【神奈川県】清水留美子 穂田宗隆 浅野康一 安積力也 天野潤 荒井明子 稲田淳 今川信夫 岩澤裕基 岩谷幸子 牛山元美 梅澤昌子 江頭眞彦 江坂宏子 遠藤道子 大石三枝子 大社淑子 尾崎久美 尾崎正夫 加納昌子 川上豊子 川辺美弥子 河原三津子 黒澤道男・雅子 桑原安子 小暮修也 小林悦己 駒形朋子 斉藤恵子 島田勝彦 進宏一 新藤雅敏 新村道子 杉谷愛 鷺見八重子 関根ゆかり

【福島県】太田春夫【茨城県】伏木節子【栃木県】阿部真希子 鮎瀬和子 磯幸一 猪股美恵 岩田昭彦 小川万里子 柏谷重明 黒崎彰子 後藤正昭 五味潤明美 塩野玄機 鈴木葉子 高谷千種 谷口敬介 土屋郁子 林哲 潘炯旭 藤本涉平 牧野一穂 宮腰治 石崎果樹園 野崎幼稚園 (福)フードバンク県北 マ・メゾン 光星【群馬県】ラカー亜耶【千葉県】佐藤伊一郎【東京都】小見寿 柄澤真理子 小泉裕子 平塚洋子 ミツ井和子 吉村祐子 (バ同)東京平和教会【神奈川県】大上宏美 佐藤牧 鈴木尚子 松木優子 横浜友の会【静岡県】山中忍【愛知県】深谷ひろみ【大阪府】藤井元子【徳島県】中島のそみ【福岡県】守山恵子

(医)医療法人 (医社)医療法人社団 (学)学校法人 (カ)カトリック (株)株式会社 (教)日本基督教団 (キ)日本キリスト教会 (公)日本聖公会 (公財)公益財団法人 (公社)公益社団法人 (財)財団法人 (社)社団法人 (宗)宗教法人 (特活)特定非営利活動法人 (バ同)日本バプテスト同盟 (福ル)日本福音ルーテル教会 (有)有限会社

2022年度 ボランティア募集中!

長期ボランティアは3か月～12か月間、アジア学院で共同生活を送りながら、また通いボランティアはご自身が希望する時間帯で、農業や調理、事務作業など様々な業務をお手伝いいただけます。英語が話せなくても、経験がなくても大丈夫です!新しいことを学びながら、有意義な時間を過ごしたいという方は、是非お問合せください。

(担当: 佐藤 sales@ari-edu.org)

作業内容

調理 / 農作業 / 事務 / 販売業務 など



学院の新鮮な有機農産物をふんだんに使い、みんなと調理することがとても楽しいです!

会計担当職員が交代となります

これからどうぞよろしくお願ひします。



杉崎由佳さん
(2022年1月より)

アジア学院で仕事できたことは私にとってもとても良い経験となりました。今まで大変お世話になりました。

君嶋満恵さん
(2022年3月まで)

「euodoō 土に生きる未来学」第6号

アジア学院の紀要「euodoō (ユオードー)」は、サポーターの皆様にご覧いただき、アジア学院の価値観をより深く理解していただくために毎年作成しています。第6号は次の内容を予定しております。

- ▶ 「アジア学院の持続可能な農業とコミュニティ開発研修プログラム」……………マーティン・キリギア氏('20卒)の研修論文
- ▶ 「食物を作る営みを通じて培われる全体性の環境思想」……………小野颯太氏('20年度ボランティア)の大学卒業論文
- ▶ 「サーバントリーダーとしてのコミュニティ開発員」……………ティモシー・アパウ氏(アジア学院職員)のエッセイ
- ▶ 「都市化するアジアの農民の運命」……………高見敏弘氏'96年ラモンマグサイサイ賞受賞時の演説

ミャンマー緊急募金

アジアの土 2021年9月号で特集した、紛争に巻き込まれているミャンマー人卒業生を支援するための募金運動の経過をご報告いたします。

12月20日時点の募金額

1,676,976円

ご協力に心より感謝申し上げます

1月31日現在、各々の地で避難民やコミュニティの人々を支援している卒業生5名にそれぞれ20万円または10万円、合計80万円を送金しました。支援物資の購入などに役立てられています。今後も少しずつ、人々のために必要としている卒業生に分配していきます。

さらに、まだまだ支援が必要な状況が続いていることから、募金の期間を3月31日まで延長いたします。皆様の思いをぜひ託してください。



皆様からの支援金で購入された物資

ミャンマー緊急募金専用口座

銀行名: 足利銀行西那須野支店
口座番号: 2962221
口座名義: 学校法人アジア学院

※寄付控除は受けられません。※領収書をご希望の方はご連絡ください。

延長
します!
(3月31日まで)



2022年3月末発刊!

1冊 ¥800 (税込)

アジア学院ホームページから製本版をご注文いただくか、またはPDF版をダウンロード(無料)してください。

次号の「アジアの土」は4月臨時号です。2023年に控えたアジア学院50周年に向けての取り組みを特集いたします。どうぞお楽しみに!